



実験開始を控え、試料にレーザーを当てる準備をする研究者＝兵庫県佐用町、理研播磨研究所（撮影・大森 武）

# 未来の科学 咲かせたい

神戸新聞20120308

X線レーザーSACCLA稼働

## 佐用の理研播磨研究所

兵庫県佐用町の理化学研究所（理研）播磨研究所に完成したエックス線自由電子レーザー施設「SACCLA（さくら）」が7日、稼働した。7月末までに大学や企業などによる25件の研究利用が決まっており、スーパーコンピュータ「京」（神戸市中央区）との併用で、新薬開発などが期待される。

最初の実験は、植物が光合成の際に使う水を分解する触媒の研究。午前10時の実験開始前に実験スペースが報道関係者に公開され、研究者らがレーザーを試料に当てデータを

とが期待される。さくら建設を指揮してきた理研播磨研究所の石川哲也所長（58）は「稼働は一里塚であって到達点ではない。予想もしなかった使い方を見つけ、新しい科学を生み出してほしい」と話した。

さくらには、エックス線のレーザーを発振する世界2例目の施設。国の第3期科学技術基本計画で日本の将来を支える五つの「国家基幹技術」に選ばれ、理研などが2006年度から総事業費約390億（古根川淳也、松本茂祥）